



マックス株式会社 2025年3月期第2四半期(中間期)決算説明会 質疑応答録

この質疑応答録は、2024年10月31日（木）に開催したアナリスト、ファンドマネージャ向け決算説明会にて、ご参加の皆さまからいただいた質問とその回答の概要です。

■インダストリアル機器部門について

[質問1]

北米での鉄筋結束機の新製品効果と今後のプロモーション計画について教えてください。

[回答1]

北米では、前年同期にプロモーションを実施した影響により、第2四半期（3ヶ月間）の鉄筋結束機の機械の販売数量はマイナスとなっています。5月に発売した鉄筋結束機新製品は、第1四半期にディーラーへの配荷が完了したところとなりますので、提案活動を推進することによって、徐々に新製品効果が表れてくるものと考えています。また、今後の販売状況に合わせてプロモーションを実施する可能性はあります。

[質問2]

欧州の市況に底打ち感があると捉えている背景と、エリア毎の状況を教えてください。

[回答2]

各国の建設景況感を示す指標や、ドイツの主要ディーラーにて鉄筋結束機の消耗品の販売が回復基調であることなどから、底打ち感がみえてきたと考えています。第2四半期（3ヶ月間）の欧州全体の消耗品は、数量ベースで前年同期比18%伸長しています。イタリアやスペインなどの南欧では、建設景況感が堅調に推移しており、販売実績も前年同期比で大きく伸長しています。景況感と販売増加が一致しており、今後も伸長が期待できると考えています。

[質問3]

国内では、第2四半期にかけて鉄筋結束機の新製品効果が収束しているように見えます。販売の状況を教えてください。

[回答3]

国内では昨年12月の鉄筋結束機の新製品発売から拡販が進み、第2四半期は数量ベースで機械9%、消耗品6%の増加となっています。新製品発売直後の伸び率からは落ちていますが、需要が減少しているわけではなく、底堅く推移しているものと捉えています。

[質問4]

10月に一部地域で発売した鉄筋結束機の新製品「コネクティッド ツインタイア」の全国及び海外での発売時期を教えてください。

[回答4]

具体的な発売時期はお伝えできませんが、準備が整い次第、各地域へ展開していきます。

[質問 5]

鉄筋結束機の新製品「コネクティッド ツインタイア」は、海外に関しても共同開発先のKDDI株式会社の通信プラットフォームで対応できるのでしょうか。

[回答 5]

海外も対応可能です。

[質問 6]

「コネクティッド ツインタイア」の販売価格は、昨年12月に発売した鉄筋結束機「RB-442T」から引き上げていますか。

[回答 6]

若干引き上げています。

■全社状況について

[質問 7]

通期計画について、上期の営業利益（約74億円）と比較して下期の営業利益（約61億円）が減益となる要因を教えてください。

[回答 7]

為替レートの違いによる影響が約5億円、また成長投資として約7億円の投入を予定していることを踏まえ、下期の営業利益を約61億円で計画しています。

[質問 8]

成長投資の具体的な内容を教えてください。

[回答 8]

設備投資・DX投資などの経営基盤強化投資や研究開発投資を計画しています。

[質問 9]

ROE 10%超えの水準を維持するための施策を教えてください。

[回答 9]

事業収益力のさらなる向上に加え、資本マネジメントを適切に実行していくことで、ROE 10%超えの水準を維持・向上させていきたいと考えています。

[質問 10]

大株主によるマックス株式の売却の可能性があるかと思いますが、今後の対応・方法を教えてください。

[回答 10]

状況に合わせて機動的に対応したいと考えています。方法については、現時点で具体的に明言できませんが、流動性を高めていくことも考慮しながらマネジメントしていきたいと考えています。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する内容は、当社が2024年10月31日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご了承ください。